



第177号
令和8年2月25日
能代市教育委員会
学校教育課
創刊
昭和42年10月10日
題字 元能代市長
鎌田 宏



随想

「退職前の独り言です」

第五小学校

校長 渡部 剛

振り返るとカッコイイ姿を見せてくれた先生方がたくさんいた。その姿に憧れて今までやってこられたと思う。採用2年目、柔道の大会から戻ると校長がいた。「渡部、これからマスコミが来る。お茶を校長室に運んで、この裏の教頭席に座り、俺がどんな対応をするか黙って聞いていろ。」と言われた。その後、県教育委員会からの電話を取りついで時、「これは俺の責任だ。俺がなんとかするから大丈夫。」と言って振り返り「渡部、おめもいつかこんな経験するかもしれないが。」と笑った顔が忘れられない。

自信があるところでもつまずくと心が折れやすい。生徒指導上の問題で上手く解決できず苦しかった。「校長が最初から出るべきではない。」とアドバイスしてくれる人も多かったが、私が憧れた人は自分で行動して責任をとる人たちだったからやってみた。自信を失い教師を辞めたい逃げたいと思った。教育委員会や先輩、同僚、幼なじみに救われた。強そうに演じてきたが強くない自分に気が付いた。一人一人に教師物語が存在する。心と身体の健康に十分配慮して、いろんなことがあるけれど、そこをこやれている自分に自信をもって幸せでいてほしい。困難に出会っても憧れた先生を思い出し、誰かを頼ればいい。熱くて温かい姿を見せる人や困ったとき、助けてくれる人がいることが能代の不易と願っています。

スクールニュース

地域を支える人々に
「地域伝統芸能体験」
能代東中学校
教頭 高橋 秀之



本校では毎年7月に、第五小学校の6年生を招いて「地域伝統芸能体験」を実施している。今年も、「檜山舞」「鶴形ささら」「道地佐々楽」「臈洲番楽」の保存会の皆様（総勢15名）にご来校いただき、伝統芸能を体験した。大変暑い日だったが、保存会の皆様の丁寧なご指導により、楽しく体験することができた。「地域伝統芸能」は、各地区で奉納公演をしたり、学校祭ひがして、全校生徒や保護

輝きの一場面



「避難所開設訓練」
災害時の自助・共助を学ぶ
令和7年10月24日 能代南中学校

者の方々の前で披露したりして、次の世代へ確実に受け継がれている。今後、地域を盛り上げる活動（能代EAST活性化プロジェクト）を中心に据えたふるさと学習を展開し、「地域を支える人」の育成に向けて取り組んでいきたい。

